



雷門通りで 未来の道路空間を考える 社会実験を行います

浅草では、地元で暮らす方、商いをする方、街を訪れる方など、さまざまな人が心地よく過ごせるまちを目指して、まちづくりを進めています。

今回の社会実験では、雷門通り・並木通りの一部を歩行者空間として拡げ、普段は「通る場所」である道路を、歩いたり、立ち止まったり、思い思いに過ごせる空間として活用します。

実際のまちなかで、人の過ごし方や自動車交通、沿道への影響などを確かめながら、賑わいと快適性が共存する、これからの浅草の道路空間について考えます。

実施日

令和 8 年 10/25(日)・11/15(日)

実施時間

11:00～15:00

交通規制

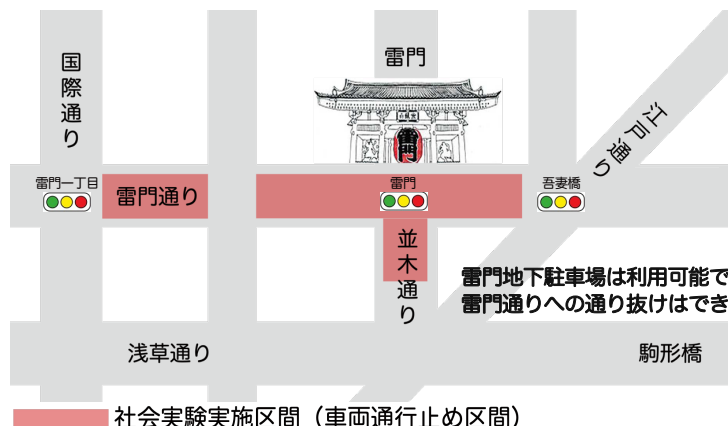
11:00～16:00

※15:00から撤収作業を開始し
16:00に交通開放します。

実施内容

雷門通り及び並木通りの一部区間（雷門一丁目交差点～吾妻橋交差点及び雷門交差点～並木通り中間部）を車両通行止めとし、歩行者空間を拡げます。人の過ごし方や、自動車交通等の影響を検証します。あわせて新しく策定した「浅草まちづくりビジョン」について、パネル展示も行います。

場 所



WEBアンケート実施中！

＼約3分で回答／

これからの浅草の
道路空間について、
みなさまのご意見をお聞かせください



- 主催／浅草地区社会実験実行委員会
- 問合せ先／03-5246-1366（台東区都市づくり部地域整備第二課）